

第 87 回全国研究大会

開催校による統一論題解題

大会実行委員長 田中克昌（文教大学）

日本マネジメント学会第 87 回全国研究大会は、統一論題「次世代につなぐマネジメント～事業の創造と承継～」のもと、2023（令和 5）年 6 月 9 日（金）・10 日（土）・11 日（日）、文教大学（東京あだちキャンパス）にて開催いたします。

統一論題の「次世代につなぐ」には、日本に限らず先進国において少子高齢化が加速し、製造業をはじめ多様な企業において知識や技術、技能、ノウハウの承継が急務である状況を込めました。また、副題の「創造」には経済及び社会に変革をもたらすイノベーションを、「承継」には「継承」における権利・財産に加え、企業の文化や先代の精神など目に見えないものまで受け継ぐことを込めています。

既に日本は COVID-19 によって少子化が加速し、わずか 20 年後には引き継ぐべき次の世代自体が十分に存在しないという危機に見舞われています。特に日本の製造業における就業者数は、1992 年に約 1,500 万人のピークを迎えた後、一貫して減少し続け、2021 年には約 1,000 万人、つまり、ピーク時の 3 分の 1 にあたる 500 万人も減少しました。製造拠点の海外移転、ファブレス化やサービス化の進展が相乗効果となり、かつて、国家のコアコンピタンスを「ものづくり」としていた日本から、その能力が急激に失われています。さらに、後継者を見出せず事業継続を断念するという事業承継の問題も深刻化しています。

一方、企業におけるデジタル活用は、AI や Web3 等の先進技術の進化により、イノベーションを加速し、事業を創造するとともに、技術・技能承継を支援し、自動化を促進することで業務の効率化にも貢献することが期待されます。

そこで、第 87 回全国研究大会では、統一論題を体現する実務家をお招きします。

人工衛星を中心に 30 か国 350 機以上のグローバルな実績とともに「現代の名工」が活躍する企業である NEC スペーステクノロジー 片桐秀樹社長、常に新たな挑戦を続ける足立区を代表する製造業の今野製作所 今野浩好社長（企業見学もご担当）、公認会計士を東ねグローバルに監査サービスを展開する EY 新日本有限責任監査法人の鈴木裕司常務理事、丸亀製麺の世界展開とソーシャルイノベーションを加速するトリドール HD サステナビリティ推進部の大下浩平部長にご登壇いただきます。

何れも最先端の領域においてイノベーションを創出するとともに、次世代へと事業、知識、技術、技能、ノウハウを承継する組織マネジメントにより、事業継続性を高めている経営者の方々です。

また、学術面でもイノベーションや事業創造、技能承継や事業承継における新進気鋭の研究者による学術的な報告と、パネルディスカッションにより、実・学一体となって、これからの企業経営の在り方を見い出し、提言してまいります。

学会員の皆様方におかれましては、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

特別講演

■講演者

片桐秀樹氏（NEC スペーステクノロジー株式会社 代表取締役 執行役員社長）

（企業概要 <https://www.necspace.co.jp/company/profile.html>）

■特別講演概要

人工衛星を中心に約 30 か国 350 機以上の豊富な実績を有するイノベーティブな企業であると同時に、製造業として製造、組立、検査領域での高度な技能を誇る「叙勲者」や「現代の名工」が活躍する企業です。特別講演では、宇宙事業への取り組みや、独自の生産方式の追求、超精密かつ高度な技能・技術・ノウハウ伝承と人材確保に向けた組織マネジメントについて、ご講演いただきます。

■同社の最近の対外発表

- ・「当社が参画した**世界最高水準の通信速度**を実現する光通信機の開発について」（2022年9月）
<https://www.necspace.co.jp/press/2022/0908.html>
- ・「令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰『**創意工夫功労者賞**』を受賞」（2022年4月）
<https://www.necspace.co.jp/press/2022/0415.html>
- ・「令和3年春の『**黄綬褒章**』を受章」（2021年5月）
<https://www.necspace.co.jp/press/2021/0507.html>
- ・「令和2年度「卓越した技能者（**現代の名工**）」表彰を受賞」（2020年11月）
<https://www.necspace.co.jp/press/2020/1106.html>